

2020 年度活動報告

みなさん、こんばんは。

2020年度は、コロナ一年目。

設立以来、数多の波乱万丈を乗り越えた関ゼミの中でも予想外の一年でした。

なにしろ、「関ゼミ設立後初めて、海外に行けない」「それを受けて、初の完全オンラインでの交流」という初めての試みに挑戦した1年目でした。

早速年間スケジュールを見ていきましょう！

【年間スケジュール】

- 3月 ・研究室にて翌年のゼミの計画を語る
- 4月 ・ゼミ生Zoomにて顔合わせ
- 5月 ・ネパール人大学生への自己紹介動画をダンス形式で撮影
・ゼミ活動ブログ執筆開始(現在noteにて掲載)
- 7月 ・関ゼミホームページ開設
・メロサティ・プロジェクト2020開会式 4ヶ月間実施
- 11月 ・国際学生サミット2020～オンラインの可能性～
- 12月 ・12日ゼミ研究発表会に四名かゝ参加
- 1月 ・マルチカルチュラル・フェア第1回、第2回開催
- 2月 ・TKU 2020年度 進一層賞ゼミ学外活動部門 受賞
- 4月 ・小学校授業

ここでは、いくつか選りすぐって紹介します。

詳細が気になる方は、関ゼミブログや公式インスタグラム、ツイッター、Facebookにも遊びに来て下さい！

【MERO SATHI PROJECT 2020 7/10-11/8】

2020年はコロナ禍だったため、実際に海外研修に行くことができませんでした。ですが！私たちはコロナ禍でも出来ることを模索し続けました。そこでたどり着いたのがオンラインでの国際交流プログラムです。4か月間の長い間私たち日本人メンバーとネパール人メンバーは連絡を取り続け、SDGsや互いの文化や価値観への構築を行ってきました。

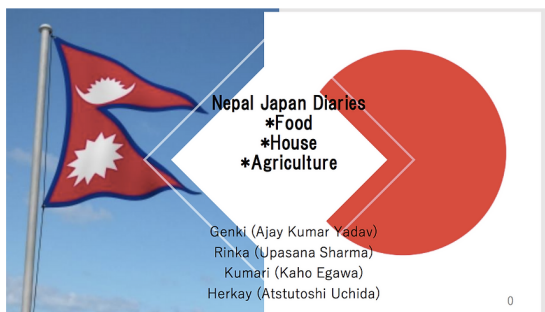
参加メンバー：関ゼミ生17人・ネパール人学生16人

〈具体的な活動内容〉

7月10日：2時間にも及ぶMERO SATHI PROJECT 2020の開会式を行いました。

我々関ゼミメンバーは浴衣や甚平を身にまといました。

- Session1/Daily lifestyle study 日常生活や習慣を知る



- Session2/Festivals and events お互いの祭りや文化紹介
- Session3/The Role of Youth グループごとに関心のある社会活動に対する研究
- Session4/Panel Discussion グループごとに関心のあるSDGs項目を一つ選び、それらの課題に関してパネルディスカッションを実施

【国際学生サミット2020～オンラインの可能性～】

2020年11月8日、第二回目の国際学生サミットを開催しました。今年は新型コロナウイルスの影響によってオンライン開催となり、世界各国から様々な方が参加してくださいました。

ープログラム内容ー

- 1.バーチャルサミット会場紹介
- 2.オンライン技術を駆使した参加者紹介と文化交流
- 3.日本ーネパール共同伝統芸能披露
- 4.グループ活動報告[食品ロス問題(SDGsの観点から)]
- 5.パネルディスカッション(オンライン国際交流の可能性)
- 6.サミット共同声明発表

日本とネパールというとても離れた国のメンバー同士が、オンライン上で自己紹介をしたり、文化交流が出来たりしたのは、コロナ禍があったからこそ出来たことでもあると思います。オンライン上でここまでたくさんの事が出来るとは正直最初は思っていませんでした。コロナ禍で制限が課される中、このような素晴らしいオンラインでの国際交流ができた事、両国間の文化や価値観について理解を深められたのはとても有意義な時間であり、大切な時間でした。オンライン上で国際学生サミットを行えたことで、4ヶ月間行ってきた国際交流の成果を発表することができました。

Virtual International Student Summit 2020
Infinite Possibilities of
Online International Exchange

PROGRAM (ONLY IN ENGLISH)

1. INTRODUCTION OF VIRTUAL SUMMIT VENUE
2. PARTICIPANTS INTRODUCTION AND CULTURE EXCHANGE
MAKING FULL USE OF ONLINE TECHNOLOGY
3. JAPAN-NEPAL COLLABORATED TRADITIONAL PERFORMANCE
4. GROUP PRESENTATION FOOD LOSS PROBLEM
(FROM THE PERSPECTIVE OF SDGS)
5. PANEL DISCUSSION
(POSSIBILITIES OF ONLINE INTERNATIONAL EXCHANGE)
6. JOINT STATEMENT OF THE INTERNATIONAL STUDENT SUMMIT

Supported by
the Ministry of
Foreign Affairs
in Japan

TIME: 2020 / 11 / 8 (日)
2:00PM - 5:00PM
(JAPAN TIME)

VENUE: ONLINE
 YouTube live&Facebook

FEES: FREE!

APPLY HERE

HP : <https://www.merosathiproject.com/>

organized by : A.A.E.E. Asia Association of Education and Exchange
 : Seki Seminar at Tokyo Keizai University




<この研修を通して学んだこと>

2020年ネパールとのプログラムを通して、社会と個人の繋がりについて学んだ。恥ずかしながらプログラムに参加するまで、私は社会問題に強い興味を持ったことがなかった。しかし、SDGsをテーマに4ヶ月以上の継続的な交流を行うことで、社会の問題を、個人の問題に引きつけて考え、議論できるようになった。

さらに、学問的な議論だけでなく、文化間の交流であるダンスパフォーマンスでは日本とネパールの参加者が言葉を介さずして、一体化したような感覚に囚われた。作成にあたり、ネパールのダンスと日本のダンスを取り入れて1つの作品を撮ったのだが、各自振り付けを覚えてダンスを録画し、最後に編集で1つにした。完成した時の達成感と楽しい感情が混ざった高揚感は他の言葉で言い表せない。

最後に、オンラインサミットは4か月のオンライン国際交流プログラムもコロナ禍だからこそ出来た貴重な経験だった。オンラインは可能性を秘めていることを証明できたと思う。

最後には日本のみならず、世界各国の参加者から英語で質問が飛び、それにリアルタイムで答える賑わいようだった。



アーカイブはこちら！

<https://www.youtube.com/watch?v=PHyDfV246EI&feature=youtu.be>

【マルチカルチュラル・フェア2020第1回、第2回開催】

マルチカルチュラル・フェアとは、2019年度より関ゼミナール主催で開催した、参加者と一緒に多文化共生について考えるイベントです。

2020年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により大学へ登校する機会が減少し、1年生と上級生が繋がることは難しいという状況がありました。1年生の役に立てることがしたいという思いから、「頑張れ！1年生応援企画」と題し、オンラインにて2回に渡るマルチ・カルチュラルフェアを開催しました！

<第1回マルチカルチュラル・フェア>

1月15日に開催した第1回では、ゲストパネリストとして大瀬朝楓さん(上智大学総合グローバル学部4年)、永島郁哉さん(早稲田大学文学部3年)、さらに東京経済大学の一年生を対象にパネリストの募集をし、応募者の中から選ばれた國原萌花さん(東京経済大学コミュニケーション学部1年)が登場しました。

アーカイブはこちら！

https://www.youtube.com/watch?v=PpTXSZ_paLQ

The image shows a promotional poster for the 'Multi-Cultural Fair DAY1' on January 15th. The poster includes the following information:

- 主催:** 東京経済大学関ゼミナール 東京経済大学
- テーマ:** 「みんなで語ろう多文化共生！」
- モダンリーダー: 関 昭典 教授**
上智大学と早稲田大学の学生、そして東京経済大学1年生による多文化共生をテーマとした対談です。必ず得られるものがありますので、ぜひご覧ください。
- パネリスト1: 大瀬 朝楓** (上智大学 総合グローバル学部4年)
関先生の隣りにいる東経大生ってすごい人達ばかりなので緊張しています。どんな一年生が来るか楽しみです。
- パネリスト2: 永島 郁哉** (早稲田大学 文学部3年)
正直、僕は皆さんが羨ましい。関ゼミって面白い企画ばかりで、他大生なのについて参加してしまいます。習っています！
- パネリスト3: 國原 萌花**
(東京経済大学コミュニケーション学部1年) 自分の視野を広げたいと思い、今回応募を決めました。素敵な方々とディスカッションをする機会をただで先業です。
- 開催日:** 1月15日(金)
- 時間:** 14:40-16:10
- 場所:** Zoom+YouTube Live

Below the poster is a QR code and a green button that says '申し込みはこちら!!!' (Apply here!!!). To the right is a screenshot of a Zoom meeting grid with 24 participants, including the featured speakers and moderators.

<第2回マルチカルチュラル・フェア>

1月22日に開催した第2回では、ゼミ生全員がパネリストになり2020年度の活動を振り返りました。1年間の活動で経験したことを基に、多文化共生が意味することについて議論。また、初めは馴染みが無かった持続可能な開発目標(SDGs)とどのように向き合ってきたのか、ゼミ生の考えや経験談を共有しました。

アーカイブはこちら！

<https://www.youtube.com/watch?v=T93Iwmc49qI>



【メロサティ・プロジェクトの発信方法について】

メロサティ・プロジェクトの発信方法について、主に以下の媒体で活動の報告を行っていました。興味がある方はぜひフォロー&投稿のチェックをしてみてください！

ゼミブログ <https://sekiseminar2017tku.blogspot.com/>
 Twitter @Sekiseminar_tku
 Instagram @tku.sekiseminar
 外部リンク <https://www.merosathiproject.com/>
 note <https://note.com/sekiseminar/>

【一年間の活動で達成したこと】

- 1.国際学生サミット2020～オンラインの可能性～
→外務省の後援を受けて、オンラインでパネルディスカッションを開催。2,000人の集客を達成。
- 2.TKU 2020年度 進一層賞ゼミ学外活動部門 受賞
→各分野で活躍した学生を表彰する2020年度「TKU進一層賞」表彰式をオンライン形式で開催しました。本学の建学の理念である「進一層」を体現する活動を行っている学生を表彰することからこの名称を用いており、「学芸部門」、「資格取得部門」、「課外活動部門」、「ゼミ学外活動部門」の4分野に分かれています。
- 3.マルチカルチュラル・フェア2020第1回、第2回開催

＜現ゼミ生へのメッセージ＞

コロナ禍の交流を通して、どのような状況にあっても目標を目指して邁進する姿勢を学びました。ゼミ生の方も海外との交流が辛くなった時は、「何かに夢中になって邁進する」ことを思い出して頂ければ幸いです。もちろん、私たちが「コロナに直面した世代だから」特別に大変だったなんて大それたことをいうつもりはありません。どの世代でも、それぞれの文脈に応じた固有の苦労

や、壁が立ちはだかっていることは想像に難くありません。後輩である皆さんにも、私たち以上に困難な状況に直面することはあるでしょう。そんな私たちが、もし困難に直面した皆さんにアドバイスを送れるとしたら、「大変な事がたくさんあるかとは思いますが、困難に直面したら、夢中になって取り組むことで必ず道は開ける」という事実です。

【ページ作成者】

- ・井原千怜(いはら ちさと)2022年度卒【2019-2020在籍】
- ・学部:コミュニケーション学部コミュニケーション学科グローバルコース
- ・職業:飲食・ホテル・サービス業



【ページ作成者】

- ・内田充俊(うちだ あつとし)2022年度卒【2020-2021在籍】
- ・学部:経営学部流通マーケティング学科
- ・職業:広告代理店



【編集手記】

大学に登校できない2020年。4月に完全オンライン化が決まった時は、「この世代の大学生は可哀想」とまでネットでは書き込みが散見された。しかし、勝手に被害者にするな、と。その世間の風潮に「否！！！」を突きつけるような充実したプロジェクトだった。オンラインでここまでのクオリティの高い交流を成功させられたからこそ、「コロナでも、いや、コロナだからこんなにも充実した交流ができる」と希望を持つことが出来た。

「コロナで就活のガクチカが作れない可哀想な世代」という世間の評価に反するかのよう、就職活動ではガクチカに書きたいことが多すぎて、取捨選択するのに時間がかかるくらいだったし、面接では、「コロナでもオンラインで海外交流!？」と面接官の前のめりの食いつきが面白いくらいで面接に通過したのはこのゼミで積んだ経験に心から感謝しています。何よりも「経験は何をするかよりも、誰とするかで大きく異なる」という言葉は真実だと思うし、そんな経験を積めた2020年の

ゼミの同期、そして何よりも関昭典教授に感謝の意を込めて本報告書の結びと代えさせていただきます。

素敵な大学生活の経験を、ありがとうございました。